FAJ

離床・転倒・徘徊　見守りセンサー

カメラを使わず、ベッド下から3つの動きを検知

RTH-25

離床・転倒・徘徊を 1台で見守る

早めの気づきで、夜間の見守り負担と事故リスクの低減を支援します。



01 離床検知

ベッドから離れた動きを素早く検知

02 転倒検知

座り込み・寝転びを検知し早期対応へ

03 徘徊検知

設定したエリアからの離脱を検知

一般的な離床センサーとの違い

マットスイッチ・人感センサー

- 介護者にも反応する
- 作業前後にセンサーの切／入が必要
- 主に離床のみを検知

RTH-25

- 介護者を区別して自動除外
- センサーの切／入作業が不要
- 離床・転倒・徘徊を1台で検知

開発中　**ナースコール連動に向けて改良中**

施設の既存設備に合わせて検討します

夜間の「すべて見に行く」から、必要な場所へ早く対応する見守りへ。

ご相談受付中

株式会社エフエージェイ　〒241-0826 横浜市旭区東希望が丘7-25　https://fajpn.com

離床・転倒・徘徊　見守りセンサー

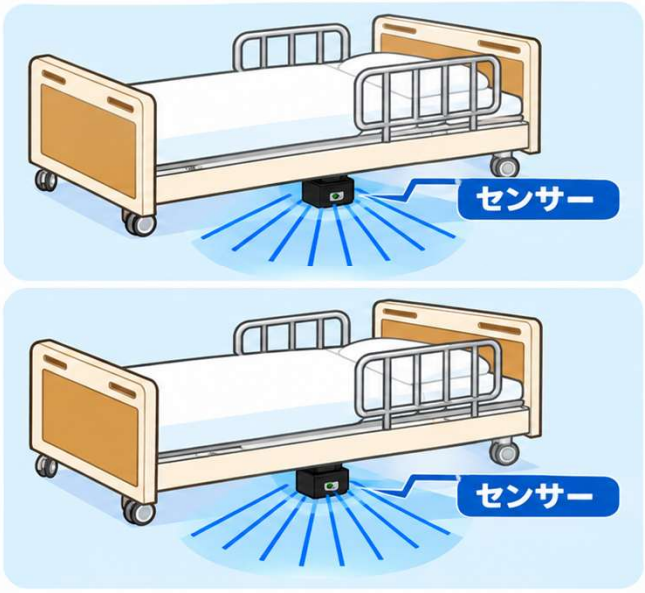
シンプルな設置と長距離無線で、複数居室を一括管理

RTH-25

RTH-25の仕組み

ベッド下センサー → LoRa → センター装置

センサー



長距離無線
(LoRa)

長距離無線
(LoRa)

センター装置



検知する動作





介護者は自動で除外します。

導入しやすい設計

✓ 最大40台	センター装置1台で一括管理
✓ LoRa通信	施設内をカバーする長距離無線
✓ Wi-Fi不要	新たな無線LAN構築が不要
✓ カメラ不使用	映像を撮影せずプライバシーに配慮
✓ 工事不要	必要な居室から段階的に導入

設置のポイント

1 ベッドの長辺中央の下に設置
2 検知方向を居室の入口へ向ける
3 靴の影響を避けるため床から約10cm
4 居室変更時はセンサーを移動して対応

※設置場所は居室環境に合わせて調整します。

製品概要

製品名	**離床・転倒・徘徊 見守りセンサー**
型式	RTH-25
検知方式	非接触LiDAR方式
通信方式	LoRa（長距離無線通信）
TAISコード	02363-000003
取得特許	特許第7186327号

株式会社エフエージェイ　〒241-0826 横浜市旭区東希望が丘7-25　https://fajpn.com

システムの注意点

昼間は人の出入りがあるため、システムは周囲が暗くなる夜間に作動します。

センター装置の注意点

警報の種類	文字色
正常	白（WHITE）
間取	緑（GREEN）
離床	マゼンタ／赤紫（MAGENTA）
転倒	赤（RED）
徘徊	黄（TFT_YELLOW）
介護	青（BLUE）
故障	赤（RED）
無応	橙（ORANGE）

警報音

警報中の液晶画面にタッチすると、警報音が止まります。

新しい警報が発生したときは、再び警報音が鳴ります。

センサーの注意点

基本的にセンサーを操作する必要はありませんが、夜間にセンサーを動かすと5秒後に白LEDが点燈し、間取りを開始しますので速やかに退室してください。
1分後に白LEDは消え離床・転倒・徘徊を監視します。

